



活動実績発表で県代表となった青年部は1月12日、東北・北海道ブロック大会に出場します。写真は町のイメージアップに取り組んだ花壇づくり（5月）

べごや、モ～最高！ 活動発表で最優秀賞

12月1日、盛岡市で開かれた第43回 J A 岩手県青年大会の青年組織活動実績発表で、J A 新いわて青年部葛巻中央支部（樋ノ口康支部長、会員60人）が、みごと最優秀賞を受賞しました。

盛岡地方代表として出場した同青年部は「べごや モ～最高」と題し、久保淳さん（32歳・山岸）が発表。町のイメージアップにもつなげようと、今年は遊休農地を活用した花壇づくりや看板づくりのほか、葛巻小学校3年生を対象に社会科の授業の一環として酪農の仕事を紹介するなど、酪農への理解と関心を高める活動に積極的に取り組みました。

同青年部は、部員のほとんどが酪農後継者。今後も地域農業の担い手として、意欲ある活動が期待されています。



音楽の喜びを体いっぱい表現した音楽会。写真は元氣よく「スイカの名産地」を歌う5歳の子どもたち

豊かな音色が広がる 親子で参加の音楽会

今年で7回を数える山の音楽会（山形音楽教室主催）は12月3日、町総合センターで行われました。

会場には約150人の観客が集まり、教室に通う生徒のピアノ演奏や特別参加の親子の歌など会場いっばいに広がる音楽に盛んな拍手が送られました。また、棒を振って音を出すブームワッカーやジャズピアノの演奏、イタリア歌曲の独唱なども交え、普段はなかなか聴く機会のない音楽も楽しみました。

主宰の山形由紀さん（34歳・茶屋場）は「発表会を通じて、子どもたちに毎日の積み重ねの大切さを学んでほしい」とあいさつしました。

プロの表現力に感動 樹原ゆりさん朗読会

葛巻中学校（中野繁校長）の3年生50人は12月8日、プロによる文学作品の朗読を鑑賞しました。語り手は、町にもたびたび訪れている女優の樹原ゆりさんで、浅田次郎作「角筈にて」を情景豊かに、時には涙を浮かべながら語り、生徒を作品の世界へと誘いました。

朗読を聴き終えた堀口準大（つくひろ）君は「感情が一つ一つこもっていて素晴らしいと思いました。このように読めるようになりたい」。沢田香子さんは「話の中に登場した一人一人の特徴をとらえていてすごいと思いました」と感動していました。

朗読会は、葛巻小学校やふれあい宿舎グリーンテラスでも行われ、多くの方がその魅力を味わいました。



わずかな照明とBGMが流れる中、作品と朗読の魅力が伝えた朗読会（葛巻中学校）

舞いも優雅に15周年 なでしこ会の発表会

発足15周年を迎えた新町のなでしこ会（熊谷トシ子代表、会員10人）は12月10日、モウモウ館で踊りの発表会を開き、熟練の優雅な舞いでおよそ350人の観客を魅了しました。

同会の踊りは、すべて同地区の遠藤正子さん（81歳）の振り付け指導によるもので、先生への感謝の気持ちを込めて「あやこ音頭」など8曲が披露されました。

また、茶屋場婦人会など6団体による「葛巻慕情」の競演や友情出演などで発表会を盛り上げました。

代表の熊谷さんは「遠藤先生をはじめ、地域の方々のお力添えのおかげで、節目の年に積み重ねてきた踊りを発表できてうれしいです」と感激していました。



秋祭りでの踊りが活動の始まりとなった「なでしこ会」発表会の益金は社会福祉協議会などに寄付されました

笑顔のせて晴れ舞台 体いっばいに躍動感

活動3年目を迎えた舞スマイルダンス教室（越田名緒美代表、会員26人）は12月23日、総合センターで初めて単独の発表会を開きました。

1年以上も前から準備や練習を重ねてきた念願のステージ「Love Rock」には、最終リハーサルを公開するほど大勢の観客が集まりました。5歳から50代までの会員が、躍動感と笑顔あふれるダンスを体いっばいに表現し、観客を沸かせました。

代表の越田さんは「これまでのプロセスを通して、会員やご家族、協力してくださった皆さんとのきずなを深めることができました」と感激していました。



手作り衣装や会場の装飾など趣向を凝らした演出で、踊る喜びと楽しさを存分に伝えたステージ



クリスマスソングを心を込めて歌う職員。円内は、キャンドルサービス

回復願い歌の贈り物 病院でクリスマス会

葛巻病院（高橋克郎院長）は12月19日、入院や療養型病床に入所されている人たちの1日も早い回復を願い、別館講堂でクリスマス会を開きました。

最初は、ゲストの葛巻中学校2年生有志29人が「いざたて戦人よ」など2曲を合唱し、素晴らしいハーモニーを披露しました。続いて、サンタ服姿の職員が、この日に向けて練習したクリスマスソングをハンドベルで演奏したり、ギターに合わせて歌ったりしました。

キャンドルサービスも行われ、職員の家族の中から波紫寛斗君（5歳）と大久保柚希ちゃん（同）が、参加者に配られたキャンドルに1本ずつ明かりをともし、皆さんを励ました。